

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公表番号】特表2007-522440(P2007-522440A)

【公表日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2007-030

【出願番号】特願2006-542678(P2006-542678)

【国際特許分類】

G 0 1 S 13/89 (2006.01)

G 0 1 N 22/00 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 1 Q 3/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 S 13/89

G 0 1 N 22/00 L

G 0 1 N 22/00 S

G 0 6 T 1/00 4 2 0 A

H 0 1 Q 3/02

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月16日(2007.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体ポジション(290)の周りに延在するフレーム(318)と、

被検体ポジション(290)の周りに分布されかつ隔てられた位置におけるフレーム(318)に固定して取り付けられた複数のアンテナアレイ(282、284、286、288)であって、それぞれのアレイ(282、284、286、288)は、被検体ポジション(290)から隔てられたポジションから、約200MHzから約1THzまでの周波数範囲の電磁放射(26,30)を、被検体ポジション(290)における被検体に向かって送信しそこから受信するように構成された少なくとも1つのアンテナユニット(294、296、298、300)を含み、それぞれのアンテナアレイ(294、296、298、300)は、少なくとも1つの他のアンテナアレイ(294、296、298、300)からは電磁放射(26)を受信しない被検体ポジション(290)に位置する被検体の一部に向かって、電磁放射(26)を送信するようにした、複数のアンテナアレイ(282、284、286、288)と、

アンテナアレイ(294、296、298、300)を操作し、受信した放射(30)を表現する出力(48)を作り出すように構成されたトランシーバ(38)と、

トランシーバ出力(48)を、被検体のイメージを表現する画像データに変換するよう適合されたプロセッサ(40)と、

を有することを特徴とするイメージングシステム(20)。

【請求項2】

複数のアレイ(294、296、298、300)は、被検体ポジション(290)に位置する被検体の全外周に向かって電磁放射(26)を指向するのに適切で、被検体ポジション(290)の周りで隔てられた少なくとも3つのアレイ(294、296、298

、 300) を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム (20) 。

【請求項 3】

被検体ポジションの周りに分布されかつ隔てられた離隔位置におけるフレームに固定して取り付けられた少なくとも 3 つのアンテナアレイが存在することを特徴とする請求項 1 に記載のイメージングシステム。

【請求項 4】

それぞれのアレイは、被検体ポジションにおける被検体に向かって放射を直接に送信しそこから放射を直接に受信するように構成された少なくとも 1 つのアンテナユニットを含むことを特徴とする請求項 3 に記載のイメージングシステム。